

令和7年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 令和7年6月4日(月) 14時59分～16時39分

(2)開催場所 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア 地下1階「R005」会議室

(3)開催形式 対面及びweb会議システム「Zoom」によるハイブリッド開催
<https://us06web.zoom.us/j/83565955387?pwd=RtaTkO5hKwbC5AlWrbaaa1l9zjFHhP.1>
ミーティング ID: 835 6595 5387
パスコード: 417919(今回1度きりのパスワードです)

2. 理事数及び出欠理事数

- (1)理事数 9人
- (2)出席理事数 7人
- (3)欠席理事数 2人

3. 出欠理事の氏名

出席者:

会議室より:山崎直子、遠藤守、室山哲也

Zoom より:麻生茂、虎野吉彦、中沢孝、藤島豊久

欠席者:上垣内茂樹、高田正隆

4. 出席監事の氏名

出席者:

会議室より:棚橋秀行、富田実

5. 事務局の氏名

稲田伊彦、小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 審議事項

第1号議案 令和6年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

7. 報告事項

- (1)理事長の業務執行状況について
- (2)専務理事の業務執行状況について
- (3)評議員の交代及び辞任について
- (4)団員推移について

8. 議事の経過及びその結果

事務局小定が zoom ホストとして、web会議システムにアクセスする出席者4名を受入れ、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

(1) 理事会開会宣言

定款第33条に基づき、山崎理事長が議長となり理事会を宣し、本理事会の議事進行については遠藤専務理事があたり審議に入った。

(2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨

を報告した。

続いて、審議に入る前に事務局 安田より、本日理事会資料確認を行った。

(3) 令和6年度第3回理事会議事録確認

遠藤専務理事より、令和6年度第3回理事会議事録の内容確認が行われ、特段の意見・異議はなかったことから、了承された。

(4) 審議事項

【第1号議案】 令和6年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

事務局小定より、資料No.1 令和6年度事業報告書(案)及び附属明細書について説明を行った。

続いて、事務局安田より、同じく資料No.1 令和6年度収支決算書(案)及び財産目録、附属明細書、財務諸表に対する注記を記載した書類の説明を行った。

続いて、棚橋監事より、監査報告書に基づき、方法及び結果について報告を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

山崎理事長より、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進するにあたり、現時点でどの程度の対応が可能な財務状況にあるのかについて質問があった。

事務局の小定より、ホームページの更新や改修については、毎週1回外部のウェブ担当者に来てもらい、その都度、必要に応じてホームページの修正やキャンプ募集ページの作成などを依頼しているが、あらかじめまとまった改善費のような予算を確保して対応しているわけではない旨説明を行った。

これに対し、山崎理事長より、今後どのようなDX化が求められるのかについては、現在の課題や業務上の困りごとの程度を踏まえ、どの程度の投資が適切か検討していく必要があるとの考えが示された。

また、多少なりとも業務の効率化につながる施策があれば、早期に取り組むことも有効であるとの意見が述べられ、引き続き検討を進めてほしい旨の発言があった。

さらに、団員会費の金額がどのような経緯で決定されたのかについて、質問があった。

これに対し、事務局小定より、10年前に公益財団法人へ移行した際、会費を2,400円から3,000円に値上げした経緯があるとの説明があった。現在、冊子「宇宙のとびら」等の配布に係る費用は会費だけでは賅いきれず、助成金等を活用して運営しているが、それら助成金はいつまでも継続するものではないとの説明を行った。

棚橋監事より、現在送付している冊子やパスポート類のデジタル化を進めることで、DXの一環としてコスト削減が図れるのではないかと意見が出され、特に送料の負担が大きくなっている点が課題であるとの指摘があった。

室山理事より、40周年記念事業について、会員への提案募集を行ったものの、具体的な意見はあまり集まっていない現状が指摘された。また、今後の事業検討にあたっては、山崎理事長の体制となり、状況も変化していることから、少年団の活動コンセプトを改めて見直す必要があり、11月の分団長会議などで本件を正式に議題として取り上げ、会員の関心を喚起するような形で進めていくべきとの意見が述べられた。

山崎理事長より、関連してYACフェローについても報告があったが、現在の具体的な状況として、YACフェローの誕生、会費の支払い等に関する質問があった。

事務局の小定より、YAC フェローについては、できるだけ今月中に募集を開始できるよう現在活動委員会で準備を進めており、フェローの管理に新たなコストが発生しないよう、既存の YAC 団員管理システムで対応可能な形を検討している旨の説明があった。

麻生理事より、「中高生基礎講座の益々の充実を図らないといけないですね。親子 2 代、3 代にわたって YAC 団員はいいですね。フェロー団員頑張りましょう。」のチャット欄書き込みがあった。

遠藤専務理事より、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

(5) 報告事項

① 理事長の業務執行状況について

山崎理事長より、資料No.2に基づき、理事長の業務執行状況について報告があった。

② 専務理事の業務執行状況について

遠藤専務理事より、資料3に基づき、専務理事の業務執行状況について報告があった。

③ 評議員の交代及び辞任について

事務局の安田より、資料No.4に基づき、企業の人事異動に伴い評議員1名の交代と、別の評議員1名から辞任の申出があったことについて、現在手続き中である旨の報告があった。

④ 団員推移について

事務局の小定より、資料No.5に基づき、現在の団員数が1,972名であり、4年連続で増加していること、特に小学校低学年の増加が顕著であることが報告された。一方で、中学生・高校生の比率低下については、課題である旨の説明があった。

遠藤専務理事より、全体を通して意見を求め、意見交換および質疑応答が行われた。

虎野理事より、本日の検討事項の中には規程の見直し等、引き続き議論が必要な項目もあるため、今後の討議事項として別途整理しておくべきとの発言があり、当該項目は非公開扱いとし、別紙にて整理することとした。

(6) その他

遠藤専務理事より、臨時理事会の開催提案がない場合、次回の理事会は2026年3月の予算理事会となるため、候補日程については事務局を通じて調整を行うこととされた。

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに出席した監事は記名押印する。

以 上

令和 7年 6月 4日(水)

(議長)

理 事 長 山崎 直子 (押印済)

監 事 棚橋 秀行 (押印済)

監 事 富田 実 (押印済)